

千歳新管制塔と航空宇宙自衛隊

2023年12月22日、『日刊航空』のフェースブック(SNS)は、「国交省、新千歳空港で管制業務も視野。民間機管制のみ移管を構想、防衛省と調整へ。新しい管制塔を建設、自衛隊と共同施設に」と伝えていた。

また、同日の『日刊航空』の紙面はSOSの内容に加え、「新管制塔は国交省が現管制塔から700m南の新千歳空港敷地内に、予算77億円で2026年に着工し、2028年9月に完成を目指す」との記述と、新管制塔の建設は土地使用の調整及び短期間での建設ノウハウを有する国交省に決まった」と伝えていた。そこで、『日刊航空』以外の報道を生成AIで検索すると、2023年12月2日に『北海道新聞』が「防衛省と国土交通省が新千歳管制塔の管制業務を共同で行うことで、より効率的な管制業務を実現することを目的としている」と報じていた。

この時点では、新千歳管制塔に関する報道が、『日刊航空』と『北海道新聞』だけであるので、国交省のフラグ的なかなと軽く考

えていた。しかし、2020年に宇宙作戦隊が新設され、2023年には6個高射群の編成が解除され、4個高射群に再編成された。さらに、今年から、飛行隊の整備員が整備補給群検査隊に編入され今年の4月1日付で検査隊が整備隊へ改称されたことを知った時点で、正直なことを言えば、

だが、国際線ターミナルが当初の予定地ではない、基地に近い所に建設した事に国交省の強かさを感じるが、新管制塔での共同管制については、自衛隊機の運用に支障をきたす事がないように望む。

国際情勢が混沌とし、脅威が宇宙にも及ぶ状況下で、第2術科学校を第1術科学校に統合し、飛行教育体制も2022年からイタリアの国際的な軍用パイロット飛行訓練学校で、イタリア製最新練習機を使用する、高度な訓練を受けると対処力の強化に努め、抑止力と対処力の強化に努める航空自衛隊には、グローバルな安全保障上の課題への対応と、航空宇宙自衛隊への華麗なる変身を偏に願う。

(広報部長 渥美伸悦)



現在の千歳管制塔と国際線ターミナルビル

ば驚きの感覚しかなかった。次いで、これは以前からの噂話ではあるが、第203飛行隊がF-35へ換装され、第201飛行隊の掩体群をダート標的投棄エリアに整備する等の噂が本当であれば、第2航空団の主要機能が基地の南側に大きくシフトする事になるのかもしれない。

今年4月10日に『読売新聞』が『日刊航空』と同趣旨の記事を掲載した事で、航空宇宙自衛隊へ改称を見据えた流れだと気が付き、新管制塔が700m南に建設され、国交省との共同管制も、航空宇宙自衛隊への改称に伴う組織改編と募集難に起因していると思測した。

近頃気になることが増えた。世代という言葉の定義はないが、「老年と若年」の現役とOBなどの世代間の現状認識、知識や価値観の相違である。先日千歳の基地の電話交換が自動音声方式へ変化していたのには驚いた。

事前の告知の有無は承知していないが、省力化施策なのだろう。官民の最も身近な繋がりは電話といえる。電話対応のプロは世のコールセンターで、流石に対応は素晴らしい。よく教育されてもいる。

我が方のことであるが先日、某基地の役職不明のままA氏から、私の携帯に、後日書類を郵送するむね発信先番号通知で連絡があった。後日、その番号に電話しても新方式のため繋がらないので、某基地にも自動音声方式で電話した。電話に出た隊員は所属を云うのみだったが書類への回答と連絡の御礼を云いたいのがAさんと呼ぶ人は居られるかと尋ねたところ、無言のまま保持ボタンに切り替えられ、かなりの待ち時間を費やされた。話終わってみればこの隊員はA氏の部下であった。

A氏の存在を尋ねた時点で自分の上司の立場であることを伝えてさえくれればもっと円滑な対応になり、不快な思いをしないうで済んだ。

世代間のギャップ

だのではないか。最近では「教育」と「ババ・ハラ」の意味が混同されているように思う。管理職は、この違いをおそれるあまり、教育や躾を敬遠する傾向があるのではないか。このことは、ひいては重大な結果を招くことに留意すべきだ。

また、「OB」は「Z」との意思疎通において理解が不完全なことが感じられる。「最近の若い者は」とか「近頃の年寄りは」という決まり文句はなるべく自粛して、相互理解を深め、基地側とOB間の認識ギャップをなくすよう留意行動すべきだ。

(相談役 朝倉範夫)

令和6年度千鷲会年会費の納入依頼

同封しております払込取扱票(青色)による払込み、または会員皆様の口座から電信振替にてお振込み下さい。尚、今般は会員皆様ご自身で払込取扱票に加入者名、口座記号及び口座番号を記載して頂くこととなりますが、お許し下さい。

口座記号: 02780-6 口座番号: 8171 加入者名: 千鷲会
 正会員2000円 賛助会員団体10000円 賛助会員個人2000円

お問い合わせ先
 千鷲会事務局長 雷 修司 (TEL090-8860-2366)

払込取扱票	
00	金額
027806	8171
千鷲会	

イラストレーター 菅原義典会員

- 千鷲会の会員数**
(5月11日現在)
- 正会員 372名
 - 賛助会員 17社
 - 個人 16名
- 新入会
 沢村 泰二(2空司令部)
 中村 通夫(飛実団)
- 物故会員
 1月 石川 文男(北斗)
 1月 横井 隆二(富士)
 3月 藤本 幸治(稲穂)

山登り愛好会

山登愛好会は4月27日(土)に今年度一回目の登山で、南区白川登山口から初級の青山(531m)に登ってきました。会員4名と現役隊員2名の総勢6名で、晴天・晴大・気温23℃・微風というこの時期には珍しい好天に恵まれた中、ゆっくりと登山道を登り、頂上での絶景を楽しんでました。

(副会長 森田弘)

千鷲球会

千鷲会ゴルフ同好会「千鷲球会」は、令和6年度の活動を開始しました。市内(シヤムロックカントリークラブ)で4月22日(月)に行いま